

シロクジヤク「りよう」と「すず」

クジヤクといえは、七色に輝くきれいな扇形の羽を広げている姿をイメージする方がほとんどではありませんか。それはインドクジヤクです。ところが、真っ白の羽で全身が覆われたシロクジヤクもいるんです。

シロクジヤクはインドクジヤクの白変種です。白変種とは、色素の減少により、体の色が白化した動物のことです。インドやネパールなどの開かれた森に生息し、神聖な鳥として保護されています。

飼育員 日誌

須坂市動物園



います。

当園で暮らしているのは、「りよう」

(雄) — 写真
奥 — と「すず」

(雌)。りよ

うが8歳年上の「年の差夫婦」ですが、

待望の第一子は今年に持ち越し

とても仲良しです。小さい餌の入った器をそろってつついたり、寄り添って寝たり、そのむつまじさに当てられっぱなしです。

クジヤクの繁殖期は年1回です。すずは昨年、卵をたくさん産んだのにうまく温められず、ひなはかえりませんでした。「待望の第一子」は今年に持ち越しです。この夫婦が子育てにいそしむ姿を想像すると、心が躍ります。

ところで出産祝いには何を贈ろうか……。そうだ。夫婦そろって大好物のキャベツなんかどうだろう。

(シロクジヤク担当 小林哲也)

